

陸前高田発

災害公営住宅入居開始



陸前高田市で最初に完成した災害公営住宅の引き渡しが始まりました。引き渡しが始まったのは、陸前高田市高田町の災害公営住宅・下和野団地です。団地の総戸数は120戸で、このうち106戸の入居が決まっています。入居者は市役所で部屋の鍵を受け取った後、さっそく新居を訪れ、集合ポストや倉庫の位置を確認したり、部屋の窓を開けて空気を入れ替えたりしていました。中には早くも荷物を運び入れる人もいました。(10/1 ニュースエコー)

釜石発

「お米カフェ」オープン



津波で被災した釜石の商店街に震災後初めて、地元資本による新しいお店がオープンしました。美味しい「おにぎり」で評判のお米屋さん

が開いた「お米カフェ・灯」です。オーナーの佐々木真紀子さんは、地元の高校を卒業後、東京の音楽大学に進み、ピアニストをしていましたが、実家の米屋が被災したことで地元に戻り、「被災した商店街が元気になれば」との願いからカフェをオープンしました。佐々木さんの実家は釜石でおにぎりが美味しいと評判の米屋さんということで、メニューには契約農家から直接仕入れたお米を使ったこだわりの「おにぎり」もあります。震災後、初めての地元資本のお店に商店街は期待を寄せています。

(10/2 ニュースエコー)



宮古発

ソバの収穫



津波の被害から復旧した宮古市田老地区の畑で、震災後初めてソバの収穫が行われました。ソバの収穫が行われたのは田老の旧市街地の

南側にあたる野中地区の畑です。この一帯は津波によりガレキや泥に覆われたことから、県による復旧作業が今年6月まで行われました。作付は住民が営農組合「八幡ファーム」を結成し、限られた人手や機械を互いに助け合う形で行いました。収穫されたソバは産直施設などで販売することにしています。

(10/2 ニュースエコー)

釜石発

復興まちづくり情報館

東日本大震災の津波で被害を受けた岩手競馬の場外発売所「テトラック釜石」が再開されました。新たなテトラック釜石は、北海道に本社を置く民間会社が再建し民設民営で、以前と同じ敷地に建設されました。新施設は鉄骨平屋建てで、液晶モニター30台余りと自動発売機10台を備え、ゆったりした椅子で競馬を楽しむことができます。



(10/4 ニュース)

陸前高田発

写 さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)



今週は陸前高田災害FMの阿部裕美さんが、東日本大震災で局舎が流失し、大船渡市で合同支局となっていた岩手日報社陸前高田支局が、3年半ぶりに高田に開設したという話題を伝えてくれました。岩手日報社陸前高田支局は、昭和39年(1954年)から、陸前高田地域のニュース、情報を発信し続けてきました。支局長の斎藤孟さんは「街づくりは始まったばかり。個々の声を取り上げ、生活の復興に役立ちたい」と話していました。(10/8)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中

詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>

IBC復興支援室事務局 019-623-3122